【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和2年10月22日(2020.10.22)

【公開番号】特開2020-143128(P2020-143128A)
【公開日】令和2年9月10日(2020.9.10)
【年通号数】公開・登録公報2020-037
【出願番号】特願2020-89965(P2020-89965)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　35/761　(2015.01)
Ａ６１Ｐ　31/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/14　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/861　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　1/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　35/761　ＺＮＡ
Ａ６１Ｐ　31/00
Ａ６１Ｐ　31/12
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　35/02
Ａ６１Ｋ　39/00　Ｇ
Ａ６１Ｋ　9/14
Ｃ１２Ｎ　15/861　Ｚ
Ｃ１２Ｑ　1/02

【手続補正書】
【提出日】令和2年8月11日(2020.8.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ウイルスカプシド上に付着したポリペプチドを含む、アデノウイルスベクターであって、当該ポリペプチドが、対象においてペプチド特異的な免疫応答を刺激することができ、さらに、当該ポリペプチドが、前記アデノウイルスベクターによって遺伝的にコードされていないが、カプシドに共有結合的または非共有結合的に接着している、アデノウイルスベクター。
【請求項２】
前記ポリペプチドが、抗腫瘍、抗癌、抗感染および抗ウイルスポリペプチドからなる群から選択される、請求項１に記載のアデノウイルスベクター。
【請求項３】
前記癌が、鼻咽頭癌、滑膜癌、肝細胞癌、腎癌、結合組織癌、メラノーマ、肺癌、腸癌、結腸癌、直腸癌、結腸直腸癌、脳腫瘍、咽喉癌、口腔癌、肝臓癌、骨肉腫、膵臓癌、絨毛腫、ガストリノーマ、褐色細胞腫、プロラクチノーマ、Ｔ細胞白血病／リンパ腫、ニュ

ーローマ、フォンヒッペルーリンダウ病、ゾリンジャーエリソン症候群、副腎癌、肛門癌、胆管癌、膀胱癌、尿管癌、乏突起膠腫、神経芽腫、髄膜腫、脊髄腫瘍、骨軟骨腫、軟骨肉腫、ユーイング肉腫、未知の原発部位の癌、カルチノイド、胃腸管のカルチノイド、線維肉腫、乳癌、パジェット病、子宮頸癌、食道癌、胆嚢癌、頭部癌、眼癌、頚部癌、腎臓癌、ウィルムス腫瘍、カポジ肉腫、前立腺癌、精巣癌、ホジキン病、非ホジキンリンパ腫、皮膚癌、中皮腫、多発性骨髄腫、卵巣癌、内分泌膵癌、グルカゴノーマ、副甲状腺癌、陰茎癌、下垂体癌、軟部組織肉腫、網膜芽細胞腫、小腸癌、胃癌、胸腺癌、甲状腺癌、絨毛癌、胞状奇胎、子宮癌、子宮内膜癌、膣癌、外陰癌、聴神経腫、菌状息肉腫、インシュリン腫、カルチノイド症候群、ソマトスタチン腫瘍、歯肉癌、心臓癌、唇癌、髄膜癌、口癌、神経癌、口蓋癌、耳下腺癌、腹膜癌、咽頭癌、胸膜癌、唾液腺癌、舌癌およびへんとう腺癌からなる群から選択される、請求項２に記載のアデノウイルスベクター。

【請求項４】

前記対象がヒトまたは動物である、請求項１から３のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクター。

【請求項５】

前記アデノウイルスベクターが、腫瘍内、動脈内、静脈内、胸膜内、膀胱内、腔内または腹腔内注射、または経口投与用に製剤化される、請求項１から４のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクター。

【請求項６】

前記ポリペプチドが、共有結合的または非共有結合的にアデノウイルスカプシドに連結したポリリジン改変ポリペプチドまたは正に荷電したポリペプチドである、請求項１から５のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクター。

【請求項７】

前記ポリペプチドが、静電的、ジスルフィドまたはアミド結合連結によってカプシドに結合されているか、または同時送達されて単一のナノ粒子のカプシドに付着されている、請求項１から６のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクター。

【請求項８】

前記ウイルスカプシド上に付着したポリペプチドは、すべて同じポリペプチドであるか、または２種以上の異なるポリペプチドから選択される異なるペプチドである、請求項１から７のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクター。

【請求項９】

前記ウイルスカプシド上に付着したポリペプチドが、主要組織適合性複合体クラスＩ（ＭＨＣ－Ｉ）特異的ポリペプチド、主要組織適合性複合体クラスＩＩ（ＭＨＣ－ＩＩ）特異的ポリペプチド、疾患特異的ポリペプチド、腫瘍特異的ポリペプチド、および樹状細胞特異的ポリペプチドからなる群から選択される、請求項１から８のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクター。

【請求項１０】

前記ウイルスカプシド上に付着したポリペプチドが、同時にＭＨＣ－Ｉ特異的かつ疾患特異的なポリペプチドであるか、同時にＭＨＣ－Ｉ特異的かつ腫瘍特異的なポリペプチドであるか、同時にＭＨＣ－Ｉ特異的かつ樹状細胞特異的かつ疾患特異的なポリペプチドであるか、または同時にＭＨＣ－Ｉ特異的かつ樹状細胞特異的かつ腫瘍特異的なポリペプチドである、請求項１から９のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクター。

【請求項１１】

前記アデノウイルスベクターの骨格の血清型が、血清型３または５から選択される、請求項１から１０のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクター。

【請求項１２】

前記アデノウイルスベクターが腫瘍崩壊性アデノウイルスベクターである、請求項１から１１のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクター。

【請求項１３】

前記アデノウイルスベクターが２４ｂｐ欠失またはＥ１遺伝子欠失を含むか、または前

記ベクターがヘルパー依存性ベクターである、請求項１から１２のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクター。
【請求項１４】
前記アデノウイルスベクターが一または複数の導入遺伝子を含む、請求項１から１３のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクター。
【請求項１５】
前記アデノウイルスベクターがカプシド修飾を含む、請求項１から１４のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクター。
【請求項１６】
前記アデノウイルスベクターが、Ａｄ５核酸骨格と、Ａｄ３ファイバーノブ、Ａｄ３５ファイバーノブ、Ａｄ５／３キメラファイバーノブおよびＡｄ５／３５キメラファイバーノブからなる群から選択されるファイバーノブとを含む、Ａｄ５／３またはＡｄ５／３５である、請求項１から１５のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクター。
【請求項１７】
請求項１から１６のいずれか一項に記載のアデノウイルスベクターを含む薬学的組成物。